

西っ子だより

給食感謝の会

1月27日(火)給食委員会による「給食感謝の会」が体育館で行われました。

給食委員会の児童による、給食の変遷、栄養を考へられてつくられていること、片付け方の確認等の説明がありました。

給食は、野菜や肉など食材を作っている人、それを調理する人、栄養を考へて献立を作る人、できた給食を運ぶ人などたくさんの人の努力や工夫が詰まっていることを学びました。給食委員会さんご苦労様でした。



縄跳びの取組

全校児童が、月・水・金の中休みに一斉に縄跳びの練習をしています。曲が流れている約3分間、引っかかって跳び続ける練習をしています。

休み時間やお家で練習を頑張り、引っかからずに長く跳べるようになってきた子もいます。積み重ねがしっかりと成長につながっています。



由布市人権・部落差別解消教育研究会

1月28日(水)に6年生が標記の会で研究授業を行いました。「木曾の小太郎」という、地域に残る迷信によって苦しむ小太郎が、和尚から真実を聞き、粘り強く両親や村人たちにその真実を話してまわり、その迷信がだんだんと少なくなっていくというお話です。そのお話を題材に、子どもたちは小太郎の味方に「なれるか?・なれないか?」などを自分事として捉え、たくさんの市内の先生方が参観している中、一人一人の言葉で気持ちを伝えることができました。「回りに流されない気持ちが必要。友だちの話をしっかりと聴くことが大切。」などの感想も持つことができました。



APUでの外国語活動

1月22日(木)に3~6年生がAPU(立命館アジア太平洋大学)に訪問し、国際交流活動を行いました。

はじめは、留学生3名からそれぞれの母国のことについて学びました。言語や食事、文化についてクイズなども含めながら、丁寧に教えてくれました。

その後は、学生に直接インタビュー等を行いました。当日は、風が強く寒さも厳しい中、APUの学生たちの協力もあり、最初から積極的に呼び止めて英語で会話をする子や、はじめは遠慮がちにしていたけれど慣れてくると積極的に声をかけることができるようになった子もいました。とても貴重な体験になりました。

